

# ～京都市障害者就労支援推進会議通信～

本市では、国、京都府の関係行政から民間まで、企業、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関及び団体等と連携して、障害のある方が生きがいを持って働くことができるよう、それぞれのライフステージに応じて、切れ目なく支援するための協働機構「京都市障害者就労支援推進会議」(平成21年8月設立)を中心に、「一般就労の促進」「定着支援の充実」「福祉的就労の底上げ」に係る施策を推進しています。

「第6期京都市障害福祉計画」(令和3年3月策定)における成果目標

【福祉施設から一般就労への移行】

| 年度   | R1   | R2   | R3   | R4   | R5(目標値) |
|------|------|------|------|------|---------|
| 移行者数 | 286人 | 230人 | 314人 | 312人 | 364人以上  |

【就労定着支援事業所の利用率】

| 年度  | R4    | 目標値(R5) |
|-----|-------|---------|
| 利用率 | 40.5% | 70%以上   |

【就労定着支援事業所の定着率】

| 年度                 | R4  | 目標値(R5) |
|--------------------|-----|---------|
| 就労定着率が80%以上の事業所の割合 | 95% | 70%以上   |

## 令和5年度 主な取組と予算

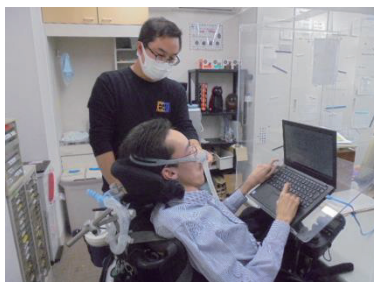
### 1 重度障害者等就労支援特別事業

21,558千円

重度障害のある方等の通勤や職場等での経済活動(就労)を支援するために、当該対象者が就労を継続するうえで必要不可欠な支援(喀痰吸引や体位の変換、安全確保のための見守り、移動の介護等)の障害福祉サービスに相当する費用の助成を行い、重度障害のある方等の就労支援を図ります。



演奏会で移動のサポートを受ける様子



介助を受けながら働く様子

※対象者の要件等、事業の詳細は以下の二次元コードから御確認ください。



事業概要



事例集

### 2 農福連携による障害者雇用創出の更なる推進

2,500千円

産業観光局と連携し、福祉施設が農産物の生産・加工・販売等に携われるよう、農家等とのマッチング等に取り組み、販路開拓や地域の活性化を図る農福連携を推進します。

具体的には、農福連携を希望する福祉施設の開拓及び農家とのマッチングに取り組みすることで、農家から福祉施設への委託業務の抽出・新商品の開発等に取り組みます。

農福連携から生まれた新商品



百井町産菊芋焼 ドーナツ  
就労継続支援B型事業所ワークセンターHall



百井町産菊芋クッキー  
就労継続支援B型事業所あおい苑

### 3 障害者就労支援プロモート事業

10,555千円

2名の「障害者就労支援プロモーター」を配置し、障害者就労支援事業所職員の支援スキルや障害のある方の就労スキルを高める研修をはじめ、地域企業の人事担当者等を対象とした研修やセミナーを実施し、障害のある方の雇用の拡大等を目指しています。



障害者就労支援スキルアップ研修会（利用者向け）  
「仕事★体験研修（チラシ制作体験の様子）」



障害者雇用セミナー（企業向け）  
「企業×福祉 ゼロからはじめた障害者雇用  
～社会資源を活用した採用と雇用管理～」



障害者就労支援スキルアップ研修会（支援者向け）  
「ロールプレイング体験で支援対象者の  
就職・職場定着に繋げよう！」

### 4 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

2,059千円

将来の企業就職に向けたステップアップとするため、就労支援事業所等と連携し、一般就労を希望する障害のある方を対象に、京都市役所の職場において、職場実習（約2週間）やチャレンジ雇用（会計年度任用職員としての雇用1か月程度）を実施しています。

実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）が業務の切り出しや実習評価を行います。

【職場実習】19名（予定）7月以降、順次実施中

【チャレンジ雇用】3名程度（予定）※実習経験者の中から選考



現地測量調査補助の様子



防災会議に向けて席札準備をする様子



P C入力作業の様子

### 5 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

250千円

障害者雇用に意欲があり、雇用に向けて具体的に検討を進める企業に対し、当該企業が雇用を進めるうえで抱えている課題の抽出や分析、これに対する解決策等についてアドバイスやコーディネートを行う就労支援の専門家派遣等の支援事業を実施しています。

これにより、当該企業の人事担当部署や障害のある方を実際に雇用する部署等との連携を進めることで円滑な雇用体制づくりに寄与し、障害のある方の一般就労への移行促進及び福祉的就労の底上げ等を目指します。

### 6 障害者職場定着支援等推進センター事業

21,446千円

障害のある方の長期就労を支援することを目的に、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）及び本センターの南部分室（京都テルサ内）を設置し、両センターに配置している専門職員が、就労に関する相談、企業訪問等による状況把握、仲間づくり支援（交流サロン）などを行い、障害のある方の自立と社会参加を推進しています。



交流サロン「ぼろぼろ」



セミナー（リフレーミングしよう）の様子



## 7 伝福連携担い手育成支援事業

1,150千円

伝統産業分野における障害のある方の職域を拡大し、就労支援・雇用創出を図ることで、技術継承や後継者確保を目指すため、障害のある方の雇用又は市内の障害者就労支援事業所への業務の発注に意欲がある伝統産業事業者に対して、障害者就労支援アドバイザーの派遣や障害のある方を雇用する際に必要な備品購入等に要する費用の補助を行っています。



京念珠の房を取り付ける作業の様子

## 8 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

14,907千円

工賃水準の向上をはじめとする福祉的就労の底上げを図るため、平成23年10月、市内施設のほっとはあと製品を取り扱うセレクトショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開設し、製品開発、生産・販売の新しいモデル事業づくりや販路拡大に取り組んでいます。

この取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来の雇用機会の創出を図ります。



ほっとはあと製品の一例

はあと・フレンズ・ストア



四条河原町花遊小路商店街内

〔営業時間〕 11:00~18:30

〔定休日〕 毎週水曜日、年末年始

〔TEL〕 075-221-8033



オンラインショップ→



←ストアHP

## 令和4年度 主な取組の実績

### 1 重度障害者等就労支援特別事業

支給決定者数：13名

### 2 京都らしい農福連携推進事業

- ・「京の黄真珠」選別業務：11施設
- ・新京野菜を活用した新商品の販売：1施設

### 3 障害者就労支援プロモート事業

#### (1) 京都市障害者就労支援推進会議の開催内容

|                |      |   |
|----------------|------|---|
| 開催日<br>R5.3.25 | 報告事項 | 京都市障害者就労支援推進会議部会等の取組状況について<br>京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について<br>京都市障害者就労支援推進事業について |
|                | 協議事項 | 「現代社会における「障害」を知る－高等教育と社会の変化－」   |

## 【部会の開催実績】

|                     |  |         |
|---------------------|--|---------|
| 精神障害者就労支援システム検討部会   | 精神障害者就労支援システム検討<br>(R5.2.1)            | 1回開催    |
| 巢立ちのネットワーク          | 総合支援学校生徒の就労職場開拓の<br>検討及び情報交換等          | 3回開催    |
|                     | 第29回雇用フォーラムの開催                         | R4.11.9 |
| デュアルシステム推進ネットワーク会議  | 長期企業実習や職業教育のあり方の検討                     | 2回開催    |
| 障害者職域開発推進部会         | 令和4年度アドバイザー派遣支援事業の<br>実施状況について(R5.2.2) | 1回開催    |
| はあと・フレンズ・プロジェクト推進部会 | 令和4年度事業進捗状況及び<br>令和5年度事業計画確認等(R5.3.22) | 1回開催    |

## (2) 障害者就労支援スキルアップ研修、企業見学会及びセミナーの開催

| 名称              | 対象              | 開催回数 | 参加者数   |
|-----------------|-----------------|------|--------|
| 障害者就労支援スキルアップ研修 | 障害福祉施設の利用者及び支援員 | 6回   | 延べ150人 |
| 企業研修・セミナー       | 企業の人事担当者等       | 2回   | 延べ20人  |

## 4 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

### (1) 職場実習の実施状況

身体障害(1名)、知的障害(6名)、精神障害(12名)のある方19名が市役所の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行い、10名の方が一般就労されました(令和5年8月現在)。

### (2) チャレンジ雇用の実施状況

上記の実習を受けた方の中から1名を京都市の会計年度任用職員として3か月採用しました。  
実施職場:保健福祉局障害保健福祉推進室

## 5 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

申込事業者:4社、利用回数:9回

## 6 障害者職場定着支援等推進センター事業

(1) 相談・支援件数:10,710件

(2) 就職後1年経過時点の定着率:84.6%

(3) 交流サロン参加人数:延べ353人

## 7 伝福連携担い手育成支援事業

株式会社 土屋念珠店が補助事業を活用し、1施設への業務委託につながりました。

## 8 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

(1) 年間売上金額…6,884千円

(2) 出店販売

(3) 大学等と連携した取組

## 9 京都市障害者就労支援推進会議ウェブサイト「はたらきまひよ」

障害者就労支援プロモート事業における各セミナー・見学会等開催情報や、  
障害者就労支援事業所等の情報を提供しています。

URL:<http://www.hatarakimahyo.jp/>

「はたらきまひよ」  
QRコード



京都市障害者就労支援推進会議通信 第15号 令和5年10月発行

事務局:京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 京都市役所分庁舎4階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940